

彫刻家

エル・



アナツイの  
アフリカ

2011 7・2 sat ↓ 8・28 sun

休館日/月曜日(7月18日は開館)

開館時間/午前10時—午後5時30分(入場は開館の30分前まで)

観覧料/一般1000円(800円)、

大高生800円(640円)

●( )内は団体20名以上の料金。中学生以下と

65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付き添いの方1名を

含む)は無料です。併せてMOMASコレクション

(1F常設展示室)もご覧いただけます。

主催/埼玉県近代美術館、読売新聞社、

美術館連絡協議会、国立民族学博物館

後援/外務省

協賛/ライオン、清水建設、大日本印刷、

損保ジャパン、日本テレビ放送網

協力/ルフトハンザカーゴAG、

JR東日本大宮支社、FMNACK5

県代館

玉近術

埼玉立美

The Museum of  
Modern Art, Saitama

〒330-0061

さいたま市浦和区常盤9・30・1

☎048-824-0111

<http://www.momas.jp/>



A FATEFUL JOURNEY:  
AFRICA IN THE WORKS OF  
EL ANATSUI

ガーナ出身／ナイジェリア在住の現代美術のアーティスト、エル・アナツイ。1990年、2007年のヴェネツィア・ビエンナーレにも参加しているアナツイは、世界で高い評価を受けているアーティストのひとり。その作品はアルコール飲料のボトルキャップを銅線で繋ぎ、編み上げた金属製の巨大なタペストリー状の彫刻。大きくうねる<sup>ひだ</sup>皺と陰影をまとい、壁で煌めくインスタレーションは繊細にして豪華、軽快にして荘厳。それは譬えようもない美しさだ。

見る者を圧倒する金属製のタペストリーは、同時に複数の物語で編まれた歴史の織物でもある。織物職人の一族を出自とし、漂泊する自らの人生と植民地主義に切り裂かれたアフリカの歴史に想いを馳せて制作するアナツイ。アート、アフリカ、アイデンティティ、家族・・・さまざまな物語を優しく包み込み、作品は深く静かな精神性を湛えていく。

本展は新作のインスタレーションを含む大規模な回顧展。旧作の木彫レリーフ、素描などの資料の展示を交え、アナツイの全貌が明らかとなる。

# 君はもう アナツイを見たか？

## エル・アナツイ (1944—)

彫刻家。イギリス領ゴールドコースト(現・ガーナ共和国)の漁師町アヤコに生まれる。1975年、ナイジェリア大学נסカ校に教職を得る。最初のメタル・ワーク《男の布》《女の布》(1998—2001年)が大英博物館のアフリカ・ギャラリーに展示される。ヴェネツィア・ビエンナーレ、アフリカ・リミックス展(2004—07年)にも出品。教職を辞した後もנסカを拠点に制作を続けている。



## A FATEFUL JOURNEY: AFRICA IN THE WORKS OF EL ANATSUI



1.《レッド・ブロック》2010年 作家蔵 2.《あてどなき宿命の旅路》1995年 世田谷美術館蔵(世田谷美術館での展示) 3.《父と子》1991年 作家蔵 4.《グリ(壁)》2009年 作家蔵(ライス大学アートギャラリーでの展示) 5.《共謀者たち》1997年 作家蔵 撮影/1、3、5、作家ゴートレイト:福永一夫 2:上野則宏 4:Nash Baker 表作品/《大地の皮膚》2008年 作家蔵(神奈川県立近代美術館 葉山での展示) 撮影:森川昇 表・右上作品/《有象無象》1998/2010年 作家蔵 撮影:福永一夫

### 【映画上映会】「叩く・ぶつける・折り曲げる エル・アナツイの芸術」

監督:スーザン・ヴォーゲル/2010年/52分 ●アフリカ美術の研究者にして映像作家であるスーザン・ヴォーゲルが迫るアナツイの創作の秘密。

7月10日(日)/8月14日(日)/各日とも午後2時~3時/2F講堂/各日定員100名(当日先着順)/無料

### 【シンポジウム】「異文化の表象と展示空間の政治学」

パネリスト:ビン・シルヴァ(ラゴス現代美術センター代表)、川口幸也(国立民族学博物館准教授)、稲賀繁美(国際日本文化研究センター教授)、建畠哲(当館館長) ●異文化を紹介・展示する空間とは、一体どうあるべきなのか。アフリカ現代美術の専門家と交え、美術館・博物館などの展示空間がもつ意味を考える。

8月21日(日)午後1時30分~午後4時/2F講堂/定員100名(当日先着順)/無料/助成: ポーラ美術振興財団 POLA ART FOUNDATION

### 【ミュージアム・コンサート】

出演: Soundout (PORI, SARO, 洞至/タップ・ダンス・ユニット) + 江川良子(サクソフォン) ●アフリカ・ルーツのタップ・ダンスとサクソフォンの競演。

8月14日(日)午後2時~、午後4時~(それぞれ30分程度)/1Fエントランスホール/無料(立ち見での鑑賞になります)/詳細はお問い合わせください。

### 【担当学芸員によるギャラリー・トーク】

7月9日(土)、8月13日(土) 各日とも午後3時~/2F企画展示室/企画展観覧料が必要です。

### MOMASコレクション [1F 常設展示室]

7月10日(日)まで/「近代の絵画と彫刻」「山本容子の世界I」「日本美術院の系譜—埼玉ゆかりの画家を中心に」「自然に学び、自然を刻む—増田三男の金工」

7月16日(土)—10月2日(日)/「エーテルと波動」「タイムトラベル」「平成22年度新収蔵作品を中心に」「山本容子の世界II」

### 次回の企画展

「生誕100年記念 珠九展」9月10日(土)—11月6日(日)



### 埼玉県立近代美術館

さいたま市浦和区常盤 9-30-1

Tel.048-824-0111

<http://www.momas.jp/>

[交通案内] JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分、北浦和公園内(東京方面からは大宮行きをご利用ください)。当館には専用駐車場はありませんが、近くの市営駐車場(有料)やコインパーキング等がご利用いただけます。団体バスは事前にご相談ください。心身に障害のある方、お体の不自由な方のご来館には、業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

